

山田安信
議員
日本共産党



○子育て支援の充実について ○豪雪でもビクともしないまちづくりについて

その他の質問

- ・利権と保身が社会を歪める問題について
- ・消費税を減税し、大企業や富裕層への減税を元に戻すことについて
- ・高齢者が元気で住み続けられるまちづくりについて
- ・市民負担にならない持続可能な観光施策について

問 子育て支援を充実するために、0～2歳の保育料軽減、学校給食の事務見直しと給食費の軽減、保育士確保支援策、妊産婦の医療費無料などを実施すべき。

答 各子育て支援制度については、先行して取り組んでいる自治体の状況や、費用対効果、多様な施策の中での重要度などを考慮しながら、検討していく。特に、妊産婦の医療費の助成については、自治体によって、助成の範囲や上限額、産後の期間の捉え方など様々な状況ではあるが、今後、勝山市も前向きに検討していきたい。

問 私たちの豪雪対策の提案に、先進地を視察して新たな雪対策を検討すると答弁されたが、雪下ろし支援の拡充、自衛隊への雪下ろし支援要請、凍結破断による上水道の漏水防止対策、克雪住宅への助成制度、被災者支

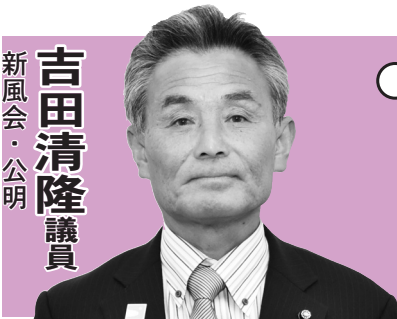
援金の増額、燃料備蓄、雪害タイムラインの見直しなど、豪雪でもビクともしない、まちづくりに取り組むべき。

答 各取り組みについては、既存事業の見直しを含め検討していく。特に、流量を感じて自動止水するメーターについては導入時の費用負担は予想されるが、既に取り組みを行っている自治体や、実現に向けた動向についての情報収集、また国の補助も含め、引き続き検討していく。

新たな克雪住宅の補助制度の実施は、それぞれの立地条件や規模、予算に合わせた選択が可能となるように、また、市民にとって使いやすい補助制度となるように十分検討し、来年度からの実施に向けて制度設計を進める。

なお、被災者支援金については、他市と比較しても高い水準に設定されており、現在、見直しの予定はしていない。

吉田清隆
議員
新風会・公明



○勝山の観光施策について

その他の質問

- ・災害対応について
- ・建設工事の発注について

問 勝山は恐竜をアピールして観光客の誘致を図っているが、市内で恐竜に関するものが少ないように感じる。北陸電力の協力を得て、電柱にいろいろな恐竜の背丈はどれくらいあるかといった印をつけて、子どもたちの興味を引き付けるとか、建設業界の協力を得て、※バス

クホーに恐竜の絵を描き、市内のいろいろな場所に恐竜がいるような雰囲気作りはできないか。

北陸新幹線が浸水して多くの車両が廃棄されるそうだが、北陸新幹線の先頭車両を購入して道の駅に設置し、売店で買った食べ物を新幹線車内で食べるような工夫をすれば、子どもをはじめ多くの方に利用していただき、北陸新幹線が2023年に開通するとのPRもできるのではと思う。

答 現在市内にはハワイトザウルスをはじめ、元禄線のブロンズ像、勝山駅前や勝山橋右岸、さらに北谷コミュニティセンター駐車場のFRP製の像などの恐竜ミニユメントが設置されており、これらミニユメントの前で写真撮影している観光客を多く見受ける。提案があった電柱や建設重機などへの恐竜ペイントは、観光誘客の重要なコンテンツになり得ると考えるので、今後いろいろな面と協議しながら、まちなかでも恐竜に出会える方策を探っていく。

道の駅への北陸新幹線車両の設置については、被災した車両について、廃棄・解体をJRが決定したと報道されているので、譲渡については困難であると考ええる。

※建設重機の一つ